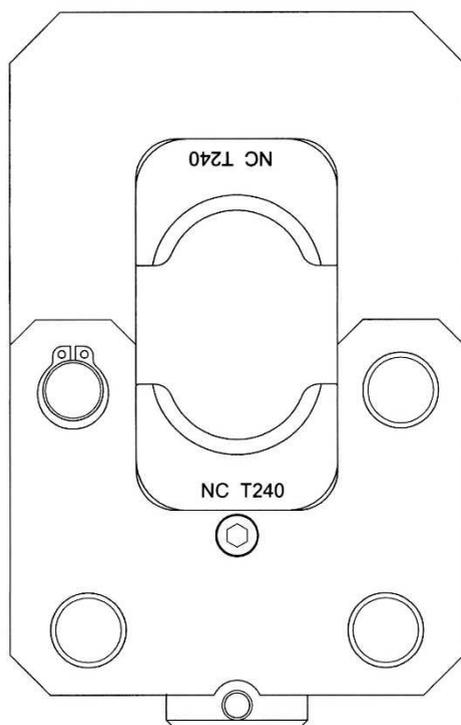


マルチパワーツール
T型コネクタ・六角圧縮兼用ヘッド
NC-M-T240
(20211209 版)

取扱説明書



株式会社 西田製作所

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などが記載されています。ご使用の際は、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用くださいますようお願いいたします。またお読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に必ず保管してください。

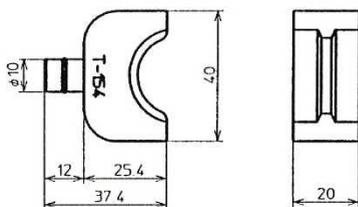
ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、「△警告」は誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意、「△注意」は誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意として記載しています。なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

仕 様

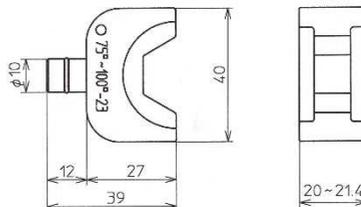
形 式	NC-M-T240
名 称	マルチパワーツール T型コネクタ・六角圧縮兼用ヘッド
質 量	約2.6kg（圧縮ダイス含まず）
使用ポンプユニット	NC-E650-DC, NC-E650-AC, NC-E750F, NC-E750Li NC-M-CL13+油圧ポンプ
圧 縮 能 力	T型コネクタ T-20~T-240（ダイスは別売） 圧縮端子 六角圧縮 8mm ² ~150mm ² （ダイスは別売）

使用可能ダイス寸法

T型コネクタの場合

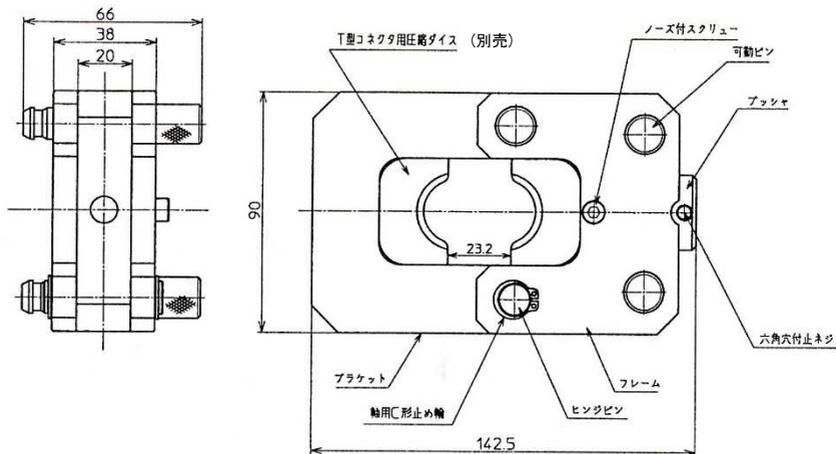


圧縮端子 六角圧縮の場合



各部の名前

T型コネクタ用ダイスセットの場合



ダイスと電線の組合せ

① T型コネクタ・電線 組合せ表

分岐線 (mm ²) 本線 (mm ²)	2 (φ1.6)	3.5 (φ2.0)	5.5 (φ2.6)	8	14	22	38	60	100
14	20	20	20	26	44	—	—	—	—
22	26	26	44	44	44	44	—	—	—
38	44	44	44	60	60	60	76	—	—
60	76	76	76	76	76	98	98	122	—
100	122	122	122	122	122	122	154	190	240
150	154	154	190	190	190	190	190	240	—
200	240	240	240	240	240	240	240	—	—

表中の数字は、T型コネクタのサイズを表す。20はT-20、26はT-26、44はT-44、60はT-60、76はT-76、98はT-98、122はT-122、154はT-154、190はT-190、240はT-240を表す。

コネクタサイズ	ダイス（別売）	適用電線範囲 (mm ²)	圧縮回数
T-20	T20	14~20	1
T-26	T26	21~26	1
T-44	T44	27~44	1
T-60	T60	45~60	2
T-76	T76	61~76	2
T-98	T98	77~98	2
T-122	T122	99~122	2
T-154	T154	123~154	3
T-190	T190	155~190	3
T-240	T240	191~240	3

② 圧縮端子・電線 組合せ表

硬銅より線用圧縮端子の場合

	圧縮端子 サイズ	適用電線		適用ダイス (別売)
		より線構成 素線数/素線径 mm	より線外径 mm	
硬 銅 よ り 線 用	14	7/1.6	4.8	8 [□] ~14 [□] -12
	22	7/2.0	6.0	22 [□] ~38 [□] -14
	38	7/2.6	7.8	
	55	7/3.2	9.6	45 [□] ~70 [□] -19
	60	19/2.0	10.0	
	75	7/3.7	11.1	75 [□] ~100 [□] -23
	100	7/4.3	12.9	
	125	19/2.9	14.5	110 [□] ~125 [□] -26
	150	19/3.2	16.0	150 [□] -29

円形圧縮線（CV線等）用圧縮端子の場合

	圧縮端子 サイズ	適用電線		適用ダイス (別売)
		形状	より線外径 mm	
円形 圧縮 線 用	14	円形圧縮	4.4	8 [□] ~14 [□] -12
	22	円形圧縮	5.5	22 [□] ~38 [□] -14
	38	円形圧縮	7.3	
	60	円形圧縮	9.3	45 [□] ~70 [□] -19
	100	円形圧縮	12.0	75 [□] ~100 [□] -23
	125	円形圧縮	13.5	110 [□] ~125 [□] -26
	150	円形圧縮	14.7	150 [□] -29

ご注意

- ⚠ 警告 雨中など、水気の多い場所では使用しないでください。
- ⚠ 警告 当社の承認なしに工具を分解、改造はしないでください。
- ⚠ 警告 工具を落とさないでください。過度の衝撃や落下は、不調の原因になります。特に高所で作業する場合は危険ですので十分な注意が必要です。
- ⚠ 警告 作業する周囲に作業の妨げとなるような危険物、引火物などないか確認してください。
- ⚠ 警告 油圧パワーユニットが作動しているあいだは、手・指などを圧縮ダイスなどの可動部に絶対に近付けないでください。手・指などがはさまれ、切断など重大な傷害を負う可能性がありますので十分に注意して作業を行なってください。
- ⚠ 警告 圧縮ダイス交換の際は油圧パワーユニットの蓄電池を本体から取り外し誤作動をおこさないようにしてから、十分に注意を払い交換するようお願いいたします。

⚠ 警告 作業者以外は近付かないでください。また作業者も油圧工具の負荷方向側には立たないようにしてください。ヘッドを人のいる方向に向けての使用は絶対にしないでください。

⚠ 注意 運転を始める前に次のような不具合点がないか工具を点検してください。

- ・油圧工具本体および油圧パワーユニット周辺に油漏れ、油のにじみがないか
- ・油圧工具本体に圧縮ダイスの破損、ガタつき、各部分の取付け部のボルト、ピンにゆるみがないか？
- ・圧縮ダイスの取付けにゆるみはないか？

⚠ 注意 作業中になんらかの異常が発生した場合はただちに運転を中止し、点検を行なうようお願いいたします。

その他の注意事項として添付の「安全に関するご注意」に記載されていますのでご使用前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。

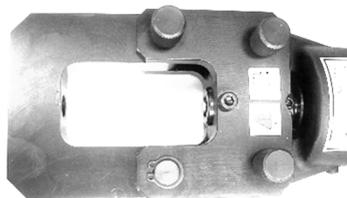
使用方法

① 本機を油圧パワーユニットに取り付けてください。

- ・油圧パワーユニットのラムが後端位置まで戻っているか確認してください。



- ・本機のフレームを油圧パワーユニットのブラケットに差し込み2本の可動ピンを奥まで差し込んでください。



⚠ 注意 2本の可動ピンで確実に固定してください。ピンが奥まで差し込まれていない状態で使用すると本体の損傷や、事故の原因になります。

- ・本機のプッシャを油圧パワーユニットのラムの先端に奥まで差し込みプッシャの固定ボルトを締めてください。



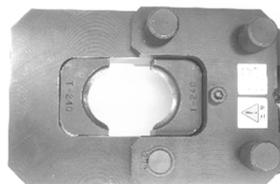
- ⚠注意 ラムのはめ込み部に鋼球がありますが、プッシャの固定ボルトでこの鋼球を押さないようにしてください。もし鋼球にかかる場合は、油圧パワーユニットのブラケットを少し回転させ、鋼球を押えない位置で締め付けるようにしてください。

- ② コネクタ（圧縮端子）に適合するダイスを選定してください。

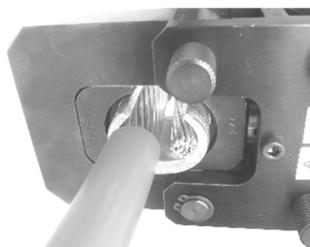
- ⚠注意 間違ったサイズのダイスや、異なるサイズのダイスを組合せて使用すると接続不良やダイス損傷の原因となります。2～3ページの「T型コネクタ・電線 組合せ表」「圧縮端子・電線 組合せ表」を確認してダイスを選定してください。

- ③ ダイスを本機ブラケット及びプッシャに取付けてください。

T型コネクタの場合



- ④ 被覆を剥いた電線と圧縮するT型コネクタ（圧縮端子）を準備してください。本機ブラケットの可動ピンを抜いてブラケットを開け、コネクタと電線を入れてからブラケットを閉じ、可動ピンを奥まで差し込んでください。コネクタ（圧縮端子）の圧縮位置を決めてからポンプユニットのスイッチを押しプッシャを少しずつ前進させてください。コネクタ（圧縮端子）が軽く固定されるまでプッシャを前進させT型コネクタ（圧縮端子）を仮押しして止めてください。



T型コネクタの場合

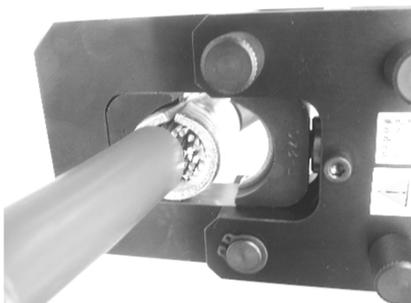
- ⑤ 圧縮作業前にもう一度、3本の可動ピンが奥まで差し込まれているか確認してください。また圧縮するT型コネクタ（圧縮端子）の位置に問題がないか確認してください。
- ⑥ 油圧パワーユニットのスイッチを押し圧縮してください。スイッチを押し続けると『ポン』という作業完了確認音がしますので音がしたらスイッチをはなしてください。

⚠ 警告 油圧パワーユニットが作動しているあいだは、手・指などを圧縮ダイスなどの可動部に絶対に近付けないでください。手・指などがはさまれ、切断など重大な傷害を負う可能性がありますので十分に注意して作業を行なってください。

⚠ 注意 油圧パワーユニットのグリップ底穴をふさぐと作業完了確認音が小さくなるので、ふさがないようにご注意ください。

⚠ 注意 作業完了確認音はNC-E750F、NC-E750Li、NC-E650-DC、NC-E650-ACをご使用の場合のみ発生します。NC-M-CL13をご使用の場合、確認音は発生しませんので接続したポンプユニットの圧力規制弁が働くまで加圧しているか確認してください。

- ⑦ 油圧パワーユニットの戻しレバーを押してプッシャを戻し、本機ブラケットの可動ピンを抜いてブラケットを開け、圧縮したコネクタと電線を取り出します。



T型コネクタの場合

- ⑧ 引続き圧縮するときは、T型コネクタ（圧縮端子）の圧縮位置を決め⑦の作業を所定の回数繰り返してください。



T型コネクタの場合

- △注意 工具の取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。非常識な行動をすると事故やけがの原因となります。

保守・点検・保証期間

- ① ご使用前には必ず各部の点検を行ない、異常がないことを確認してからご使用ください。
- ② ご使用後は必ず本体の汚れを落とし、防錆油などをウエスにしみこませ本体の表面をふいてください。特に摺動部分のプッシャ、圧縮ダイスの側面などに泥、ゴミなどが付着していないか確認し、いつもきれいにふいておいてください。
- ③ 保管の際は、次のような場所には保管しないように注意してください。
 - ・直射日光があたったり、雨や雪がかかる場所。
 - ・高温、多湿、粉塵が多い場所。
 - ・本体を置いた時倒れたり、滑って落下するような不安定な場所。
 - ・お子様の手がとどく場所。
 - ・保証期間はご購入日より6ヶ月間です。ただしダイスは保証対象外部品となります。

アフターサービス

- ・故障、修理、部品のお求め、その他のお問い合わせはお買い上げいただいた販売店、または当社営業部までご連絡ください。

NC—油圧式作業工具総合メーカー

製造元 **株式会社 西田製作所**

〒612-8247 京都市伏見区横大路下三栖南郷 21

TEL 075-611-1136 FAX 075-611-4167

<http://www.nishida-mfg.co.jp>

E-mail yuatsu@nishida-mfg.co.jp

取扱店

2022.01